

平成28年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策4 高齢者支援の充実

【会計】介護保険特別会計

施策6 医療・介護・福祉・保健のネットワーク構築を推進します

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援

事業	43	在宅医療・介護連携推進事業
担当所属		高齢者福祉課

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,433千円	315千円	559千円	280千円		279千円

【事業の概要】

事業の概要	在宅医療・介護連携の対応策等の検討を行い、関係者の連携のための研修の開催、情報共有のルール策定、切れ目のない在宅医療・在宅介護の提供体制の構築、住民啓発等を行います。
事業の目的	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進します。
事業の効果	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することで、地域の高齢者が安心して在宅生活を継続することができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
報償金及び謝礼金	573千円	在宅医療介護連携連絡会議委員謝礼(14人分×5回)
講師謝礼	600千円	多職種研修会講師謝礼(3人)、市民向け講座講師謝礼(10回分)
9 旅費		
普通旅費	26千円	職員の出張に要する交通費
11 需用費		
消耗品費	20千円	事業用(研修実施関連)消耗品
食糧費	14千円	在宅医療介護連携会議の実施に係るお茶代(14人分)、研修会講師弁当(3人分)
印刷製本費	200千円	在宅医療介護情報冊子(5,000部)の印刷代
計	1,433千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成28年度計画値
連携会議実施回数	5回
市民への啓発講演会	1回
在宅医療・介護の連携ができている機関の割合	70%